

少年硬式野球・リトルシニア能代

中学3年生2人巣立つ

第7期生 修了式 後輩から激励のエール



2人の中学3年生を送り出したリトルシニア能代の修了式(能代市柳町のプラザ都で)

少年硬式野球のリトルシニア能代の第7期生修了式は28日、能代市柳町のプラザ都で行われ、チームを支えてきた中学3年生2人に修了証が手渡された。

リトルシニア能代は、能代山本の野球レベルの向上、高校野球の甲子園

とプロでも通用する選手の育成を目指して市野球協会が20年に創設。3年生は8月で引退し、現在は1、2年生11人が練習に励んでいる。

修了式には、3年生の金野蓮さん(能代南中)と菊地悠汰君(峰浜中)をはじめ、選手、大沢勉監督、指導スタッフ、保護者ら35人が出席。市野球協会の後藤健会長が3年生2人に修了証を手渡した

後、「2人とも本当に最後までよく頑張ってくれた。それぞれ夢を持って、新たなスタートを切るが、いつまでもリトルシニア能代で学んだことを忘れないでほしい」と語った。

続いて大沢監督が3年生との思い出を振り返りながら、「菊地君はセンターで思う存分力を発揮し、金野さんは女子キャプテンとして弱音を吐かずによくここまで頑張ってくれた。これからも目

標に向かって頑張って」と激励した。

この後、修了生を代表して前主将の金野さんが「私はリトルシニアが大

好き。ここで成長できたと思っている。1、2年生はこれからも頑張ってください」と呼び掛け、新主将の川村新之助君

(能代一中2年)が「明るく優しい先輩たちだった。高校でも持ち前の明るさとガッツで野球も勉強も頑張ってください。

僕たちも満足せず、来シーズンには良い結果を出せるように頑張っていきたい」と述べ、先輩たちの門出を祝った。